

矢作 だま ごま

今号の表紙



夢かけ風鈴 [愛知県旭町]

町内を流れる矢作川や支流に吹く川風を体感してもらおうと旭町の小渡地区で、昨年からは風鈴を使った地域おこしが行われています。短冊に願いを書いた風鈴は二つの寺院で祈願奉納がされ、絵馬のように境内に飾られます。飾り付けコンテストやコンサートなど多彩な催しが行われ、町では「風鈴の町」をアピールし、観光名物にしていきたいと意気込んでいます。

開催日/平成16年7月18日(日)~8月22日(日)

●問い合わせ先

夢かけ風鈴実行委員会

TEL.0565-88-2568 (三嶋商会)

特集 / 洪水から地域を守る矢作ダムの役割

洪水による災害を未然に防ぐ、 ダムは安心生活をサポートします。

連載

- ダム周辺及び流域市町村を結ぶ / リレートーク② 岐阜県串原村
- 矢作川流域の方々との出会いでつづる / 流域オンライン② 豊田市水道水源保全事業
- 矢作ダム最新情報 工事紹介&イベント情報

アンケート調査に
たくさんの方々の
ご協力をいただきました。
ありがとうございました。
ご意見の一部をご紹介します。



これからもボクたちが
やさしく矢作ダムのことを
紹介していきます。
よろしくネ!

インターネットで矢作川や矢作ダムの
情報を手に入れることができます



治水・利水についてはじめて分かり大変すっきりしました。

愛知県日進市/Kさん(会社員)

ありがとうございます。これからも暮らしをカゲで支えている矢作ダムの機能を分かりやすく紹介していきます。

水はどこから出ると子供に聞けば、水道蛇口と答えます。そこから前が知らない、知らせないのです。矢作だむっかが果たす役割は大きいのです。

愛知県旭町/Hさん(無職)

ありがとうございます。今後、子供向けの内容で矢作ダムを説明することも必要ですね。7/28~8/4には、ダムの中の探検ができる「森と湖に親しむ旬間」のイベントを開催します。ぜひ、お子さんと一緒に参加しませんか。お待ちしております。

矢作ダムの水源となっている串原村、上矢作町、稲武町、根羽村などの山林の状況、手入れの必要性などを載せてください。

岐阜県上矢作町/Oさん(公務員)

ご指摘のように、矢作ダムの水源域の山林(人工林)の手入れは、人手不足、後継者不足と非採算性のため、非常に悪いのが現状です。平成12年9月の東海(恵南)豪雨では、矢作ダム湖に3.5万m³の流木、280万m³(ナゴヤドーム約2個分)の土砂が流れ込むという事態も発生しています。このため、豊田市民みなさんの力で水源の森を守るといった「水道水1トンに1円基金」に取り組んでいるところもあります。(本誌の『流域オンライン』に活動内容を掲載しています)

身近に感じて親しみやすい広報誌であります。継続して下されば。

愛知県豊田市/Kさん(公務員)

ありがとうございます。みなさんからの便りを支えによりよい広報誌づくりに励みます。

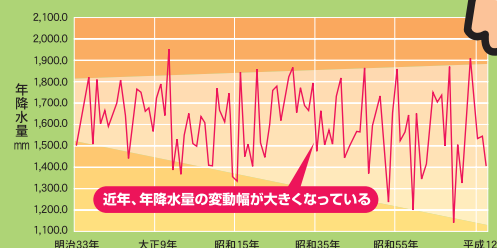
降雨量の年変動が大きくなっていると聞くと市民生活に与える影響など、ダムを通じて知りたい。

愛知県半田市/Tさん(行政書士)

下のグラフが示すように、近年、年降水量の変動幅が大きくなり、集中豪雨が多発する傾向にあります。矢作ダムでも東海(恵南)豪雨において2日間で総雨量414mm(年間の約4分の1)、最大時雨量80mm(岐阜県槍ヶ入観測所)とゲリラ的な雨が降り下流に被害をもたらしました。

●日本の年降水量の変化

出典/気象庁資料に基づき国土交通省河川局にて整理



下流で小降りの雨が、上流では大雨だったということがあります。雨が降ったらひとまず川から離れること。忘れないでネ!



アクアちゃん

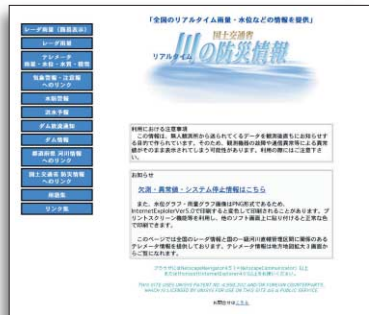
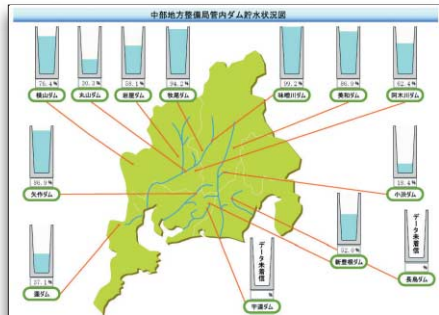


大雨の時は「サイレン」の音にご注意を!
ダムから放流を行う際、下流域で30分に30cm以上の水位上昇が起こる場合には、サイレンを鳴らして河川近くからの避難を呼び掛けています。川原で過ごすことも多いことから、季節、雨が降ってきた時は、サイレンの音にご注意ください。

矢作ダムから明治用水頭首工の間には23箇所サイレンが設置されているんだヨ。



全国のリアルタイム雨量・水位、ダムの貯水状況などの情報を提供しています。



リアルタイム 川の防災情報

<http://www.river.go.jp/>

矢作川を見てみよう!

<http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi>

矢作ダムHPのトップページにある右のパナーをクリックしてください。



矢作川のリアルタイム画像を提供しています。



平成12年9月11・12日

東海(恵南)豪雨

総雨量414mm。計画流入量を上回る観測史上最大の流入量を観測しました。矢作ダムでは洪水のピークをカットする操作を行ない、下流の岩津地点での水位を70cm(推定値)低減させ、洪水被害の拡大防止を図りました。

特集 洪水から地域を守る矢作ダムの役割
洪水による災害を未然に防ぐ、
ダムは安心生活をサポートします。



ダム湖を埋め尽くす流木

東海(恵南)豪雨では、約3万5千m³の流木と約280万m³の土砂が一度にダム湖に流れ込みました。流木は平成13年6月に引き上げを完了。土砂については随時しゅんせつ搬出を実施しています。

平成15年8月9日
台風10号

矢作ダム流域で平均約300mm(累計)の雨量を記録。この洪水に対して矢作ダムは450万m³の調節を実施し、ピーク時には岩津地点の水位を20~30cm程度低減させることができました。

放流を行なう矢作ダム

24時間体制で川やダムを監視しています



河川監視カメラ
情報表示板の設置箇所

矢作ダムでは地域のみならずよりリアルタイムな情報を提供できるよう「IT化」を全国に先駆けて進めています。

河川監視カメラの画像

この画像は矢作ダムのホームページで見ることができるほか、流域の市町村(豊田市、旭町、足助町、藤岡町、小原村、串原村)にも発信しています。



操作室

放流時のゲート操作などダムの全ての動きはこの操作室でコントロールしています。



情報表示板

ダムの放流状況から気象情報まで、地域のみなさんにお知らせしています。

洪水期(6月1日~10月15日)に入り、矢作ダムでは24時間体制で川やダムの状況を監視しています。また、情報表示板やインターネットホームページを通じてリアルタイム雨量・水位・ダムの貯水状況などを知らせることができます。

10月に恵那市など5市町と合併し
 “恵那市串原”として新たなスタートをきる

岐阜県 串原村



**ふるさとを強く思う
 村民の気持ちが私の『自慢』**

明治22年の『串原村誕生』以来116年。現在では人口千人足らずとなつてしまった小さな村ですが、何ごとにも協力し合い一致団結して取り組んできた、そんな村民の村を思う強い気持ちが、何ものにもまして誇らしく、私にとつて掛け替えのない『村の自慢』となつていきます。

昭和56年からは、子供たちにも「ふるさとを思う気持ち」を培つて欲しいと『ふるさと学習』を行っています。週に1時間、小学6年生は『串原村歌舞伎』を、中学生は『中山太鼓』の稽古を行い、文化祭などでその成果を発表するというもの。他の地域では後継者不足が懸念されている民俗芸能ですが、江戸中期

を発祥とする串原村歌舞伎も天正2年(1574)に始まったといわれる中山太鼓も子供たちの「村を思う強い気持ち」とともに絶えること無く確実に受け継がれています。

**災害に対処するためには
 十分な情報が必要**

矢作ダムの建設、経済状況の変動など、その後の串原村を大きく変えたという点から伊勢湾台風は記憶に残る大きな災害でした。また、災害に対処するためには十分な情報が必要であることを痛感させられた『恵那(東海)豪雨』も忘れることはできません。浸水想定区域を示した地図を作成するなど、災害に関する正確で適切な情報を流域市民に提供すること、また上流と下流が互いの立場を理解し合いながら河川の問題に取り組んでいくことが今後、重要ではないでしょうか。

**いつまでも串原村の『良さ』を
 失わないまちづくりを!**

自己財源に乏しい串原村の現状を考え、村の将来を見据えると今回の市町村合併はやむを得ないのだと考えています。でも、やはり内心は淋しい。この10月に『恵那市串原』として新しいスタートを切るわけですが、積み重ねてきた串原村伝統の『良さ』が今後失われたいように新恵那市のまちづくりを行って欲しいものです。

スポーツ好きの村長、今はゴルフが趣味だとか。自らを「気が短い性格」と分析され、“色々なことに耐えなさいかん”という戒めの気持ちから『忍耐力』を好きな言葉に挙げていらっしゃいます。

串原村は岐阜県の東南端に位置し、総面積約38km²の内、約84%を森林が占める緑深い山里の村。愛知県と隣接し、この地方の銘柄材「東濃松」の主要産地です。農地面積の狭さや後継者不足など、様々な問題を抱える農業は、稲作を中心として収益性の高い作物の生産選定を進めており、若者たちが誇りを持って取り組める農業経営の確立を目指し、村の特産であるこんにやく芋、夏秋トマトなどの産地化を進めています。

重要無形民俗文化財の「中山太鼓」や江戸中期の発祥といわれる「串原村歌舞伎」などの伝統芸能が盛んに行われており、小学校や中学校の子供たちにもその伝統は脈々と受け継がれています。町村制施行時から二度の合併も経験することなく今日に至っている串原村ですが、今年の10月25日、恵那市・岩村町・山岡町・明智町・上天作町との合併が計画されており「恵那市串原」として新たなスタートを切ることになっています。

くしはら温泉 ささゆりの湯

標高464mの山頂にあり、山々の尾根を眺めながら、一時を自然に浸してください。特に展望露天風呂から眺める夕焼けと共に、霧のかかった山々は格別でしょう。



- 定休日/毎週水曜日
12/30~1/1
- 営業時間/10:00~21:00
(20:30受付終了)
- 入湯料/大人600円/小人400

中山神社例大祭

串原村に古くから伝わる伝統芸能「中山太鼓」。この日は村の全ての打ちはやし組と豊田市、東かがわ市、名古屋市の振興会が集結し、狂喜乱舞する。



- 日時/10月第3日曜日
- 場所/中山神社

お問合せ先

串原村役場総務課企画係

〒509-7892 岐阜県恵那郡串原村2266番地1 TEL.0573-52-2111(代)
 E-Mail info@vill.kushihara.gifu.jp

豊田市水道水源保全事業

『水道水1トンに1円』 豊田市民みんなの力で 水源の森を守っています。

増え続ける「荒廃した人工林」

地域に豊かな恵みをもたらす母なる川「矢作川」。そんな矢作川の豊富な水は、水源地域の広大な森林によって育まれてきました。しかし、戦後、盛んに行われた植林（スギやヒノキなど）や輸入木材の増加による木材価格の低迷、山村地域の高齢化や過疎化などによって、水源地域には、間伐などの手入れが行われていない「荒廃した人工林」が増え続けています。このままでは、森が水を貯える力や水をきれいにする力など、暮らしに欠かせない森林の持つ機能が果たせなくなってしまうのです。

全国的に注目される先駆的な取組

水道水の原水の70%以上を矢作川から得ている豊田市にとって、水源の森の荒廃は、なんとしても食い止めなければならぬ市民全体の問題でした。「豊田市水道水源保全基金」は、そのような水源地域の森林を保全するために平成6年に創設されました。

豊田市民が支払う水道料金の「1㎡（1トン）あたり1円」を上流の森林保全に役立てるといふこの基金は、財源を市民が負担することで「生活に欠かすことのできない水の循環や環境保全の重要性」を考える契機になるなど、水源の森を守る仕組みの先駆的な事例として全国的に注目されています。

欠かせぬ世代を越えた理解

「間伐」を中心とした公的な管理を20年間にわたって実施することの事業は、世代を越えた理解がなければ続けることができません。現在、豊田市では、「水源の森ツアー」を実施するなど水源の森を健全に保つことの大切さをみなさんに知っていただく取り組みも合わせて行っています。また、2005年に開催される『愛・地球博』では、間伐材で作ったベンチなどの『屋外家具』を会場に設置することになっています。現在、藤岡町、小原村、足助町、下山村、旭町、稲武町で基金を利用した人工林の間伐作業が行われています。みなさんも市町村の枠を越えた「矢作川の隣人」として、水源の森のことを考えてみてはいかがでしょうか。



『愛・地球博』の会場に設置される「間伐材」を利用した屋外家具は、公募で決定したデザインをもとに、市民が製作しています。
(写真左はテーブル・イスセット部門最優秀製品賞、右はベンチ部門最優秀製品賞)

【水道料金表】(2ヵ月分) (平成10年4月1日改定)

口径 (ミリ)	基本料金 (円)	水量料金(円/㎡)			
		水量区分			
		1~40㎡	41~80㎡	81~120㎡	121㎡以上
20以下	1,780				
25	4,760	81	161	241	311
30	8,300				
40	16,420	161		241	311
50	24,400				
75	60,800		241		311
100	122,020				
150	354,360		311		

ただし平成10年4月1日時点で口径13ミリを継続して利用している方は、基本料金を200円減額します。上記水量料金のうち1㎡につき1円は、水源保全のために使用させていただきます。

豊田市の『水道料金・料金表』には、「水源保全のために使用」とことわりの文章が添えられています。



放置された私有の人工林2ha以上の区域を『水源保全林』に選定し、間伐を実施していきます。
(写真は選定された保全林に立てられている看板)

「豊田市水道水源保全事業」に関するお問い合わせは

豊田市環境部環境政策課
TEL.0565-34-6650



様々な水源保全の活動が行われるなか、水源地域では、6団体の森林ボランティアが無料で間伐の「お手伝い」をするなど、山主さんと一緒に豊かな森づくりを目指して活動を行っています。

●お問い合わせ先
矢作川水系森林ボランティア協議会
TEL.0565-42-1101(毎週水曜日のみ)

啓蒙活動のひとつとして行われた『間伐体験』

矢作ダム 最新情報

矢作ダムやダム湖周辺で行われる工事とこの夏、行われるイベントをご紹介します。

矢作ダムの機能が活かされる洪水期(6月1日から10月15日)をむかえ、24時間体制で河川の状況を監視しています。夏には、恒例となった『～森と湖に親しむ旬間～矢作ダムイベント』を開催いたします。みなさんとの楽しい出合いを心待ちにしています。ぜひ、ご参加ください。

矢作ダム・ダム湖周辺の 工事状況



堆積土砂掘削工事

矢作ダム上流にある貯砂ダム周辺に堆積した土砂を掘削・搬出して、矢作ダムの治水容量を回復させるための工事を行います。



放流設備修繕工事

ダム放流設備の塗装を行います。ダム湖の水中での作業です。



イベント情報

～森と湖に親しむ旬間～ 矢作ダムイベント

7月28日～8月4日

昭和62年に建設省(現在の国土交通省)と林野庁が森や湖に親しみ、その大切さを知っていただく『森と湖に親しむ旬間』をつくりました。毎年、矢作ダムでは、写真や現場をご案内しながら分かりやすく矢作ダムの役割や機能などを紹介する『パネル展』や参加された方、全員に“隊員証”をプレゼントする『矢作ダム探検隊』を実施しています。いつもは一般の人が入ることのできない『ダムの中』のトンネルや操作室を見学することができますよ。ぜひご参加ください。

●問い合わせ/矢作ダム管理所 TEL.0565(68)2321
※台風などの気象状況によっては中止する場合があります。



国土交通省中部地方整備局 矢作ダム管理所

〒444-2841 愛知県東加茂郡旭町大字閑羅瀬字東畑67
TEL.0565(68)2321 FAX.0565(68)2328
(ホームページアドレス) <http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi>

編集後記

おかげさまで創刊号に続き「矢作だむっこ2号」を発行することができました。今回は送っていただいた創刊号のアンケートの内容を、一部ですが掲載させていただきました。これからも矢作ダムをより身近に感じていただくために、みなさまの御意見・御要望を反映した広報誌作りをしていきたいと思っています。今号にもアンケートハガキがついていますので、たくさんの御意見をお寄せください。

●矢作ダム管理所広報誌「矢作だむっこ」は以下の場所で入手できます。また、直接ご郵送もいたしますので上記の矢作ダム管理所までご連絡ください。

愛知県/旭町、稲武町、下山村、足助町、藤岡町、小原村、豊田市、岡崎市、碧南市、安城市、西尾市、一色町、吉良町、西三河農林水産事務所、豊田加茂建設事務所、西三河建設事務所、知立建設事務所
岐阜県/串原村、上矢作町、恵那建設事務所 長野県/根羽村、平谷村

この広報誌は再生紙を使用しています。